

E048 猪之頭湧水群(陣馬の滝) (静岡県GEO  
DATA(28)特集4 : 地学散歩(107))

メタデータ	言語: ja 出版者: 静岡県地学会 公開日: 2024-06-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 北垣, 俊明, 山本, 玄珠 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/0002000679">https://doi.org/10.14945/0002000679</a>

## E048 猪之頭湧水群（陣馬の滝）



国土地理院 地理院地図（電子国土Web）

富士宮市北部の猪之頭地域には大規模な湧水群が見られる。この中の湧水地の一つに五斗目木川に架かる陣馬の滝があり、その名前は鎌倉時代に源頼朝が巻き狩りの陣をここに敷いたことにちなむ。主爆付近の造爆層とその西側（右岸側）には、最下位より古富士火山の岩屑なだれ堆積物、続けてその上位に厚さ 50 cm ほどのラミナを伴うシルト質の黄褐色ローム層、最上位にアア溶岩を示す無斑晶の猪之頭溶岩流Ⅱが累重する。さらに主爆より東側（左岸側）には、5 mm 大の輝石斑晶を点々と含む横手沢溶岩流Ⅱが猪之頭溶岩流Ⅱの下位に分布しており、さらに下位の黄褐色ローム層の堆積場に流れ込んでいる。陣馬の滝では、右岸側では猪之頭溶岩流Ⅱの割れ目やローム層との境界から、左岸側では横手沢溶岩流Ⅱと岩屑なだれ堆積物との境界から湧水が確認される。なお、黄褐色ローム層中にあった材より  $14,670 \pm 70$ yBP という炭素年代が得られている（山本ほか，2002）。溶岩名および岩相や分布については、富士宮市域自然調査研究会地学部会（2022）に従った。（北垣俊明・山本玄珠）

### 引用文献

- 山本玄珠・篠ヶ瀬卓二・北垣俊明・輿水達司（2002）：富士山西麓に分布する新富士火山旧機の溶岩層序の概要，静岡地学，85，15-19.
- 富士宮市域自然調査研究会地学部会（2022）：静岡県富士宮市芝川上流部の富士火山について，星野道平教授追悼論文集，169-194.